



## 第4章 各種指標の状況等

# 1 人口の状況

## 岩手県毎月人口推計〔政策地域部調査統計課公表資料〕

○沿岸12市町村の総人口は、248,829人（平成28年4月1日）と震災前（平成23年3月1日）と比較すると、24,108人（8.8%）の減少となっている。

○人口減少の大きい市町村は次のとおりとなっている。

- ① 陸前高田市 (-3,627人)      ② 大槌町 (-3,581人)      ③ 宮古市 (-3,244人)
- ④ 釜石市 (-2,960人)      ⑤ 大船渡市 (-2,933人)      ⑥ 山田町 (-2,838人)

○人口減少率の大きい市町村は次のとおりとなっている。

- ① 大槌町 (-23.5%)      ② 陸前高田市 (-15.6%)      ③ 山田町 (-15.3%)
- ④ 野田村 (-11.2%)      ⑤ 田野畑村 (-10.7%)      ⑥ 普代村 (-9.5%)

\* 沿岸12市町村の人口増減率は、震災前3カ年の平均で-1.5%であった。  
 震災直後の平成23年4月～平成24年3月（平成23年度）は-4.8%と大きく減少したものの、平成24年4月～平成25年3月（平成24年度）は-1.4%、平成25年4月～平成26年3月（平成25年度）も同じく-1.4%、平成26年4月～平成27年3月（平成26年度）は-1.2%、と、沿岸12市町村の人口の減少傾向は続いていたが、平成27年4月～平成28年3月（平成27年度）は0.7%と、増加に転じた。

(参考) 市町村ごとの人口総数（沿岸、各月1日現在）

	平成23年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	震災以後の増減数(49ヶ月)	震災以後の増減率(49ヶ月) 注1.	直近1年間の増減数	直近1年間の増減率 注2.	震災前の増減率 注3.	(参考)うち社会増減
	3月	4月	4月	4月	4月	4月	4月						
洋野町	17,775	17,683	17,395	17,148	16,742	16,449	16,477	-1,298	-7.3%	28	0.2%	-1.6%	-913
久慈市	36,789	36,684	36,202	35,922	35,544	35,235	35,367	-1,422	-3.9%	132	0.4%	-1.2%	-1,046
野田村	4,606	4,537	4,413	4,354	4,267	4,201	4,088	-518	-11.2%	-113	-2.8%	-1.4%	-264
普代村	3,065	3,044	2,994	2,967	2,933	2,871	2,774	-291	-9.5%	-97	-3.5%	-1.6%	-82
田野畑村	3,838	3,802	3,701	3,633	3,557	3,513	3,427	-411	-10.7%	-86	-2.5%	-1.9%	-159
岩泉町	10,708	10,636	10,416	10,198	9,902	9,672	9,723	-985	-9.2%	51	0.5%	-2.1%	-439
宮古市	59,229	58,746	57,484	56,565	55,943	55,251	55,985	-3,244	-5.5%	734	1.3%	-1.5%	-1,975
山田町	18,506	18,033	16,578	16,218	15,962	15,696	15,668	-2,838	-15.3%	-28	-0.2%	-1.4%	-1,534
大槌町	15,222	15,222	12,392	12,020	11,765	11,574	11,641	-3,581	-23.5%	67	0.6%	-1.4%	-1,964
釜石市	39,399	38,708	36,951	36,431	35,858	35,375	36,439	-2,960	-7.5%	1,064	2.9%	-1.8%	-1,514
大船渡市	40,579	40,006	38,874	38,638	38,373	38,197	37,646	-2,933	-7.2%	-551	-1.5%	-1.1%	-1,079
陸前高田市	23,221	23,221	19,849	19,570	19,381	19,174	19,594	-3,627	-15.6%	420	2.1%	-1.2%	-1,579
沿岸部計	272,937	270,322	257,249	253,664	250,227	247,208	248,829	-24,108	-8.8%	1,621	0.7%	-1.5%	-12,548
(参考)内陸計	1,053,706	1,051,714	1,047,640	1,042,421	1,036,490	1,028,804	1,022,518	-31,188	-3.0%	-6,286	-0.6%	-0.7%	-6,818
(参考)県全体	1,326,643	1,322,036	1,304,889	1,296,085	1,286,717	1,276,012	1,271,347	-55,296	-4.2%	-4,665	-0.4%	-0.8%	-19,366

注1. 震災以後の増減率=平成23年3月から平成27年4月まで（震災以降の61ヶ月）の増減率  
 注2. 直近1年間の増減率=平成27年4月～平成28年3月まで（12ヶ月）の増減率  
 注3. 震災前の増減率=平成19年度（平成19年4月～平成20年3月）、平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）及び平成21年度（平成21年4月～平成22年3月）の3ヶ年それぞれの増減率の平均  
 注4. 人口は、各月1日現在のもの

## 2 経済の状況

### 岩手県景気動向指数〔政策地域部調査統計課公表資料〕

- 平成27年12月の景気動向指数(CI一致指数、平成22年=100)は118.9となった。
- 震災のあった平成23年3月は66.9まで落ち込んだものの、その後は生産施設やサプライチェーンの回復等により県内陸部の生産活動が再開したことを受け、同年5月までに急激なV字回復を果たした。
- 平成23年6月以降は伸び悩みの状態がやや続いたものの、12月には110.4と震災前水準(平成23年2月:107.4)や、いわゆるリーマンショック前水準(平成20年9月:108.7)を上回った
- 平成24年2月以降は120を下回らない水準で推移、落ち込みも見られたものの、その後回復し、平成27年4月には135.1まで上昇、直近5年間で最も高い水準となった。

\* 本県でリーマンショックの影響を受け始めたと考えられるのは平成20年10月であるため、平成20年9月をリーマンショック前水準とした。

#### 景気動向指数（一致指数）の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H20	124.0	128.3	125.5	122.4	120.4	115.6	116.3	107.1	108.7	107.1	99.6	88.5
H21	75.7	67.1	65.7	69.2	71.6	74.6	77.7	79.1	81.3	86.6	86.5	87.7
H22	92.4	92.1	98.7	99.4	100.5	99.7	98.8	101.7	101.4	102.2	104.1	109.0
H23	103.8	107.4	66.9	83.3	95.5	97.0	97.3	104.3	107.1	106.0	103.7	110.4
H24	115.6	127.4	132.2	132.0	134.7	133.9	132.1	128.3	125.2	123.2	120.5	122.4
H25	126.2	124.5	129.1	123.9	126.1	126.6	129.2	131.4	128.7	129.2	134.9	131.5
H26	133.6	133.6	131.2	130.8	126.8	126.2	127.7	123.3	124.9	126.3	129.6	129.6
H27	131.0	128.3	131.3	135.1	129.5	127.2	127.0	125.5	123.9	120.8	116.0	118.9



## 3 被害の状況

### 人的被害・建物被害状況一覧〔総務部総合防災室公表資料〕

<平成28年3月31日現在>

○平成23年3月11日（本震及び津波）及び4月7日に係る被害状況

	死者数(人)			行方不明者数(人)		負傷者数(人)	家屋倒壊数(棟)
	直接死	関連死	計		うち、死亡届の受理件数(件)		
陸前高田市	1,556	46	1,602	204	201	不明	4,044
大船渡市	340	79	419	79	75	不明	3,938
釜石市	888	105	993	152	152	不明	3,656
大槌町	803	51	854	423	421	不明	4,167
山田町	604	83	687	148	147	不明	3,167
宮古市	420	54	474	94	94	33	4,098
岩泉町	7	3	10	0	0	0	200
田野畑村	14	3	17	15	15	8	270
普代村	0	0	0	1	1	4	0
野田村	38	1	39	0	0	19	479
久慈市	2	1	3	2	2	10	278
洋野町	0	0	0	0	0	0	26
沿岸小計	4,672	426	5,098	1,118	1,108	74	24,323
内陸小計	0	33	33	5	4	136	1,845
計	4,672	459	5,131	1,123	1,112	210	26,168

\*死者数は岩手県警調べ（ただし、関連死は復興局調べ）

\*家屋倒壊数は、全壊数及び半壊数の合計

最新の状況については、県公式ホームページで公表しています。  
 (いわて防災情報ポータル：<http://www2.pref.iwate.jp/~bousai/>)

## 4 国内外からの支援の状況

### 皆さまからのご支援

項目	内容	時点
義援金	<b>【岩手県に直接寄せられた義援金】</b> 義援金額 184億8,299万円 <b>【日赤等から配分された義援金】</b> 義援金額 349億8,503万円	平成28年3月31日
寄附金	件数25,464件 寄附金額 281億5,791万円 (内訳) ・いわての学び希望基金(孤児基金分) 件数:17,722件 金額:83億8,756万円 ・孤児基金以外 件数:7,742件 金額:197億7,035万円	平成28年4月30日
人的支援 (職員派遣等)	<b>【県内外の自治体・国】</b> 県への派遣:73団体(延べ278,119人日) 市町村への短期派遣:延べ76,281人日 市町村への中長期派遣:672人 岩手県内に事務所を設置し、支援:延べ3団体 企業・団体等 企業等から県への派遣25社(団体) 延べ5,817人日	平成28年4月30日 (市町村への 中長期派遣は 平成28年4月1日)
ボランティア	災害ボランティアセンターを通じた活動者数55万人	平成28年3月31日
文化・スポーツ・ 芸能関係の来県者	延べ2,267人(団体)	平成27年3月31日

※こちらの掲載情報は、県で集めた情報のみを掲載したものである(震災直後は混乱の中にあり、全体を集約した情報ではなく、この他にも、独自に被災地に物資を届けられた方、千羽鶴や応援メッセージなど、数え切れないたくさんのご支援いただいております、また、企業・団体等についても、県として把握している範囲で掲載している。)

# 5 いわて復興インデックス報告書

○ いわて復興インデックスは、沿岸被災12市町村を中心とした本県の復旧・復興状況の現状やその推移を把握するため、復興計画に掲げる「復興に向けた3つの原則」の状況を示す代表的な統計データを取りまとめたもの。

次のデータは、平成27年度末公表（第17回：平成28年3月公表）のデータ及び平成26年度の同時期（第13回：平成27年2月公表）のデータである。

分類	項目		指標			データ					
			今回 (第17回)	前回 (第13回)	項目	今回 (第17回)	前回 (第13回)	差	単位	最新時点	範囲
安全	まちづくり	まちづくり(面整備)の進捗率	23%	7%	進捗率★	1,816	541	+1,275	区画	平成27年12月31日	沿岸
	防災	津波防災施設の整備率	36.3%	27.4%	整備率★	25.2	19.0	+6.2	km	平成27年3月31日	沿岸
	交通	交通事故件数 [-]	+6.0%	-18.4%	前年 同期間比	89	84	+5	件	平成27年 10月～12月	沿岸
		復興道路の供用率	38%	31%	供用率★	136	123	+13	km	平成28年1月31日	全県
	放射能	地表付近の放射線量(盛岡) [-]	±0.00	±0.00	前回差	0.04	0.04	+0.00	μSv/h	平成28年1月7日	—
		地表付近の放射線量(一関) [-]	+0.01	-0.01	前回差	0.07	0.07	+0.00	μSv/h	平成28年1月5日	—
暮らし	人口	人口総数	-8.1%	-8.8%	平成23年 3月比	250,704	248,991	+1,713	人	平成28年1月1日	沿岸
		人口の社会増減(累計)	-19	-78	前回差	-11,355	-9,940	-1,415	人	平成23年3月 ～平成27年12月	沿岸
	生活	新設住宅着工戸数	-37.9%	-13.6%	前年 同期間比	785	1,264	-479	戸	平成27年 10月～12月	沿岸
		災害公営住宅の進捗率	48%	17%	進捗率★	2,748	1,016	+1,732	戸	平成27年12月31日	全県
		応急仮設住宅入居戸数 [-]	-40.9%	-22.4%	平成24年 1月比	7,813	10,269	-2,456	戸	平成28年1月31日	沿岸
		生活保護世帯数 [-]	-18.7%	-15.7%	平成23年 3月比	2,159	2,240	-81	世帯	平成27年12月31日	沿岸
	雇用	有効求人倍率(原数値)	+0.13	+0.12	前回差	1.46	1.47	-0.01	—	平成27年12月	沿岸
		保健 医療 福祉	介護施設等定員数	118.0%	114.2%	平成23年 3月比★	4,447	4,305	+142	人	平成28年1月1日
	医療提供施設数 【医療機関】		90.4%	89.6%	平成23年 3月比★	217	215	+2	施設	平成28年1月31日	沿岸
	医療提供施設数 【薬局】		92.0%	91.0%	平成23年 3月比★	92	91	+1	施設	平成28年1月31日	沿岸
	教育	学校施設復旧率 【県立学校】	100.0%	94.7%	復旧率★	19	18	+1	校	平成28年1月31日	沿岸
		学校施設復旧率 【市町村立学校】	73.1%	73.1%	復旧率★	49	49	+0	校	平成28年1月31日	沿岸
地域 活動	NPO法人数	+114.5%	+105.5%	平成23年 3月比	118	113	+5	団体	平成27年3月31日	沿岸	
	ボランティア活動人数	-33.8%	-23.5%	前年 同期間比	4,438	6,701	-2,263	人	平成27年 10月～12月	沿岸	
なりわい(産業)	倒産	企業倒産件数(年度累計) [-]	-42.9%	+250.0%	前年 同期間比	4	7	—	事業所	平成27年 10月～12月	沿岸
		雇用	有効求職者数	-1.7%	-11.3%	前年 同月比	3,921	3,989	-68	人	平成27年12月
	水産業	補助事業による 新規登録漁船数(累計)	96.8%	96.5%	整備率★	6,479	6,459	+20	隻	平成23年4月 ～平成28年1月	沿岸
		養殖施設整備台数(累計)	99.7%	99.4%	整備率★	17,420	17,377	+43	台	平成23年4月 ～平成27年12月	沿岸
		産地魚市場水揚量(年度累計)	59.7%	77.1%	3年平均 比★	89,156	115,247	—	トン	平成27年 4月～12月	沿岸
		養殖生産量(年度累計)	62.0%	60.7%	3年平均 比★	27,426	26,869	—	トン	平成27年 4月～12月	沿岸
	農業	農地復旧率	92.2%	98.0%	復旧率★	471	441	+30	ha	平成28年1月31日	沿岸
		商工業	大型小売店販売額	-8.4%	+3.5%	前年 同月比	11,221	12,255	-1,034	百万円	平成27年11月
	鉱工業生産指数(原指数)		-3.9%	-4.4%	前年 同月比	87.8	91.4	—	—	平成27年11月	全県
	公共工事請負金額(年度累計)		-5.5%	+16.0%	前年 同期間比	420,260	444,564	—	百万円	平成27年 4月～12月	全県
観光	主要観光地入込客数	-1.0%	-8.1%	前年 同期間比	1,042,666	1,053,387	-10,721	人回	平成27年 10月～12月	全県	

注1：指標の後に「-」が付いているものはマイナス指標(減少することが望ましいもの)。

注2：指標値で「+」「-」記号が付いている%は増減率を示す。

また、「+」記号がない正の%は構成比(進捗率・整備率等、指標項目に★が付いているもの)を示す。

注3：データ範囲における「沿岸」とは、原則として、沿岸12市町村(富古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、岩泉町、山田町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町)を指すが、一部の項目で遠野市、住田町を含む場合がある。

注4：「企業倒産件数」「産地魚市場水揚量」「養殖生産量」「公共工事請負金額」は年度累計値を使用しており、対象期間が前回は9ヶ月間(平成26年4月～平成26年12月)、最新は12ヶ月間(平成26年4月～平成27年3月)となるため、差には「-」を表示した。

各種指標の状況等(5 いわて復興インデックス報告書)

○データ出典一覧

分類	指標項目	指標化	出典	データ範囲	備考	
安全	まちづくり	まちづくり（面整備）の進捗率	進捗率	業務統計 （まちづくり再生課）	沿岸	進捗率＝完成区画数/宅地供給予定区画数
	防災	津波防災施設の整備率	整備率	業務統計 （県土整備企画室）	沿岸	整備率＝施設整備済総延長/要整備区間総延長
	交通	交通事故件数[-]	前年同期間比	「交通事故発生状況」 （警察本部）	沿岸	
		復興道路の供用率	供用率	業務統計 （県土整備企画室）	全県	供用率＝供用延長/事業化延長
	放射能	地表付近の放射線量（盛岡）[-]	前回差	「地表付近の放射線量」 （環境保全課）	-	盛岡市役所の地上50cmの放射線量
		地表付近の放射線量（一関）[-]	前回差		-	一関市役所の地上50cmの放射線量
暮らし	人口	人口総数	平成23年 3月比	「岩手県毎月人口推計」 （調査統計課）	沿岸	
		人口の社会増減（累計）	前回差		沿岸	
	生活	新設住宅着工戸数	前年同期間比	「建築動態統計調査」 * （建築住宅課）	沿岸	
		災害公営住宅の進捗率	進捗率	業務統計 （まちづくり再生課）	全県	進捗率＝完成戸数/建設予定戸数
		応急仮設住宅入居戸数[-]	平成23年 12月比	業務統計 （生活再建課）	沿岸	
		生活保護世帯数[-]	平成23年 3月比	業務統計 （地域福祉課）	沿岸	速報値
	雇用	有効求人倍率（原数値）	前回差	岩手労働局	沿岸	一般とパートの合計
	保健医療福祉	介護施設定員数	平成23年 3月比	業務統計 （長寿社会課）	沿岸	新設含む
		医療提供施設数 （医療機関、薬局）	平成23年 3月比	業務統計 （医療政策室、健康国保課）	沿岸	新設含む
	教育	学校施設復旧率	復旧率	業務統計 （教育委員会）	沿岸	復旧率＝復旧整備済校/被災校
	地域活動	NPO法人数	平成23年 3月比	業務統計 （若者女性協働推進室）	沿岸	
		ボランティア活動人数	前年同期間比	岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター	沿岸	
	なりわい （産業）	倒産	企業倒産件数（年度累計）[-]	前年同期間比	東京商工リサーチ、 同盛岡支店 *	沿岸
雇用		有効求職者数	前年同月比	岩手労働局	沿岸	
水産業		補助事業による 新規登録漁船数（累計）	整備率	業務統計 （水産振興課）	沿岸	整備率＝補助事業による新規登録漁船数（累計）/整備目標数
		養殖施設整備台数（累計）	整備率		沿岸	整備率＝養殖施設整備台数（累計）/整備計画数
		産地魚市場水揚量（年度累計）	3年平均比		沿岸	平成20年度～22年度の3年平均との比較 速報値
		養殖生産量（年度累計）	3年平均比		沿岸	平成20年度～22年度の3年平均との比較 速報値
農業		農地復旧率	復旧率	業務統計 （農村建設課）	沿岸	復旧率＝復旧済面積/復旧対象面積
商工業		大型小売店販売額（全店舗）	前年同月比	東北経済産業局 *	全県	百貨店とスーパーの合計 （県内61店舗（H26年11月））
		鉱工業生産指数（原指数）	前年同月比	岩手県鉱工業生産指数 （調査統計課） *	全県	平成22年（2010年）基準 速報値
		公共工事請負金額（年度累計）	前年同期間比	北海道建設業信用保証（株）、 東日本建設業保証（株）、 西日本建設業保証（株） *	全県	公共工事請負金額は、県内で発注された国、 独立行政法人、県、市町村等の事業の合計
観光	主要観光地入込客数	前年同期間比	業務統計 （観光課）	全県	14主要観光地調査	
参考資料	雇用	新規求人に占める正社員の割合	-	岩手労働局	沿岸	
		新規高等学校卒業者の県内就職者数割合	-	岩手労働局	沿岸	
	商工業	製造業事業所数・従業者数	-	「工業統計調査」	沿岸	
		製造品出荷額	-	「工業統計調査」	沿岸	

・\*については「最近の景況」（調査統計課）でも確認可能  
 ・業務統計と書かれたもの以外についてはそれぞれのホームページ上で公表されており入手可能

## 6 平成27年度の復興のあゆみ

2015. 4. 26	再建された小袖海女センターがオープン（久慈市）
5. 2	「机浜番屋群」の本格運用を開始（田野畑村）
3	「式年五年大祭」を8年ぶりに開催（大船渡市）
30	第1回いわて復興未来塾を開催（盛岡市）
6. 6	「被災3県（岩手県・宮城県・福島県）任期付職員採用試験合同説明会」を初めて開催（東京都）
9	「岩手県復興応援派遣職員の同窓会」を開催（東京都）
7. 8	釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録
12	県内で初めて、仮設商店街が本設として移転オープン「三陸サイコー商店会」（大船渡市）
18	第2回いわて復興未来塾を開催（盛岡市）
22	知事がドイツラインラント・プファルツ州政府と同州内のカイザーズラウテルン市を訪問・復興支援を感謝
24	「ミラノ国際博覧会」に出展（～27日）
29	「三陸ぐるっと食堂 in KAMAISHI × B-1 グランプリ」開催（釜石市）（～30日）
9. 5	宮古市と釜石市を結ぶ直行便バスの運行を開始
17	FDA名古屋線搭乗者40万人達成
20	第3回いわて復興未来塾を開催（盛岡市）
10. 1	「うまっ！いわて秋冬期観光キャンペーン」の実施（～3.31）
25	「広田湾大漁まつり」が5年ぶりに開催（陸前高田市）
10	台湾台北市で「つながりに感謝」震災復興報告会を開催
15	「復活の道しるべ 陸前高田応援マラソン」が震災後初めて開催（陸前高田市）
22	高台移転地の造成工事がほぼ完了した田老地区で「田老まちびらき記念式」が開催（宮古市）
28	第4回いわて復興未来塾を開催（盛岡市）
29	復興道路「三陸沿岸道路（吉浜道路）」供用開始（大船渡市）
12. 5	復興道路「東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～宮守）」供用開始（遠野市）
18	「いわて三陸復興フォーラムin静岡」を開催
23	「小本津波防災センター」が完成（岩泉町）

各種指標の状況等(6 平成27年度の復興のあゆみ)

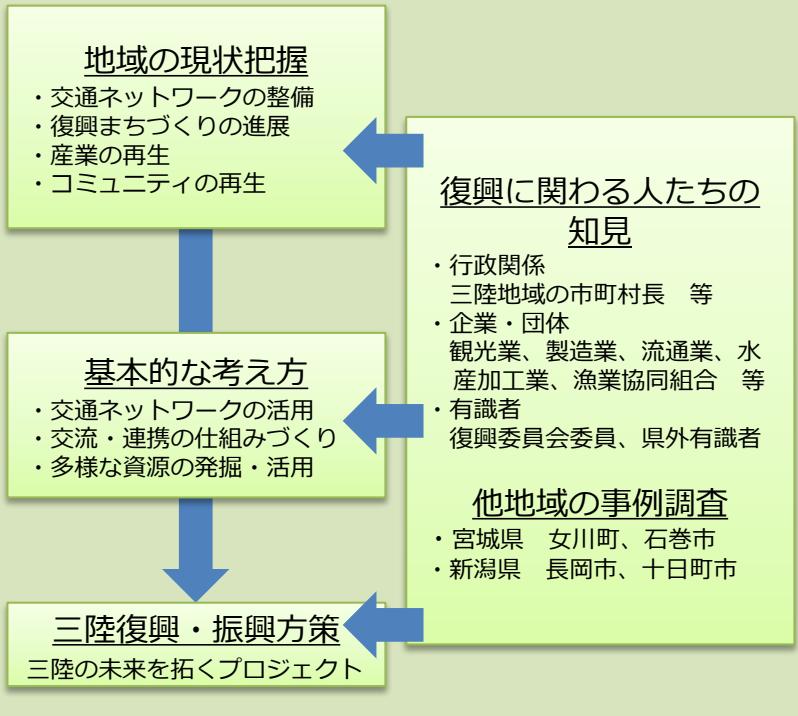
2016.1.7	復興関連道路「主要地方道重茂半島線」安全祈願祭、着工式を開催
15	「陸前高田市まちなか再生計画」の認定
22	「いわて三陸復興フォーラム」(第5回いわて復興未来塾併催)を開催(～23日)
27	第71回国民体育大会「2016 希望郷いわて国体冬季大会」スケート・アイスホッケー競技会がスタート(盛岡市)
27	道の駅「たろう」が「重点道の駅」に選定
2.4	被災事業者販路開拓支援販売会「みちのく いいもん うまいもん」開催(～3.16)
9	「大船渡市まちなか再生計画」の認定
9	「東北4県・東日本大震災復興フォーラムin東京」を開催
3.4	校舎一体型として整備した岩泉町立小本小学校・中学校の校舎完成(岩泉町)
7	宮古・室蘭間のフェリー定期航路開設決定
11	東日本大震災津波から5年、各地で追悼式などが挙行
12	復興道路「宮古盛岡横断道路(都南川目道路・川目～田の沢)」供用開始
12	大槌町末広町で「まちびらき式」が開催(大槌町)
13	大船渡駅周辺地区で「第1期まちびらき」が開催(大船渡市)
19	第6回いわて復興未来塾を開催(盛岡市)
19	大槌消防署の新庁舎が完成し、業務を開始(大槌町)
31	林野海岸根浜地区(防潮堤L=0.6km)完成



調査の趣旨

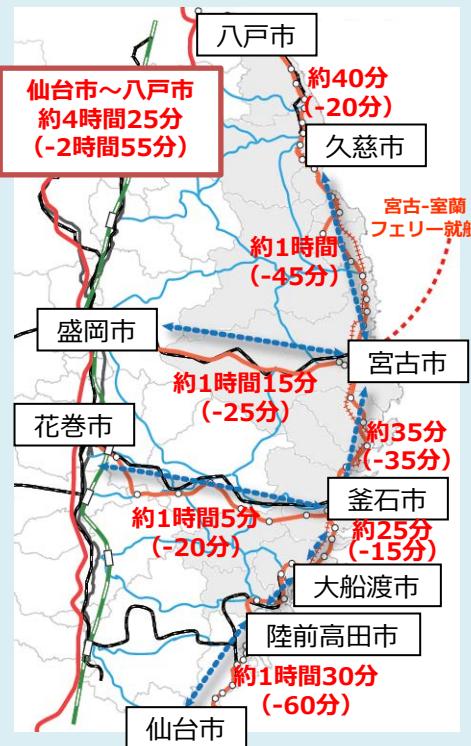
●本報告書は、中長期的な視点や広域的な観点に立ち、様々な分野の方からご意見を伺いながら、新たな三陸地域を築いていくためのアイデアや事例をプロジェクトの形で整理したものであり、市町村や企業・団体をはじめ多くの皆様が三陸の復興や振興に向けた取組を検討し、県民的な議論を深めていくための参考としていただきたいもの

●県としても平成28年度に行う第3期復興実施計画の策定過程において検討し、実行に移していくもの



現状と課題

●交通ネットワークの整備と復興まちづくりの進展



・各都市間の起終点は、各都市最寄りのICとしている  
 ・現況の所要時間はH22道路交通センサスより算出(データの無い区間は規制速度等)  
 ・復興道路整備区間は、道路構造に応じた速度(V=70~80km/h)により将来の所要時間を算出

- (1) 復興道路**
- 「三陸沿岸道路」、「東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)」、「宮古盛岡横断道路」の整備がかつてないスピードで進展
- (2) 港湾**
- 宮古～室蘭間を結ぶフェリー定期航路の開設が予定
  - 釜石港では、復興道路の整備進展等に伴い、コンテナ取扱量が順調に増加、韓国・中国を結ぶ国際コンテナ定期航路開設の動きもある
- (3) 鉄道**
- J R山田線宮古～釜石駅間が、復旧後の平成30年度以降に三陸鉄道に運営が移管予定
  - 三陸鉄道の利用客数は、通学・通勤の利用者が減少し、震災前の水準に回復していないが、平成26年度の観光の利用者は「あまちゃん」効果により震災前より増加
- (4) 復興まちづくり**
- 宮古市では、市役所等を宮古駅周辺に移転する計画や、岩泉町では岩泉小本駅周辺に公共施設を整備するなど、交通結節点を拠点とした復興まちづくりが進展
  - 大船渡市の「三陸サイコー商店会」が本設としてオープン
  - 山田町、陸前高田市等では「まちなか再生計画」が認定されるなど、各地で被災した商店街再建が本格化

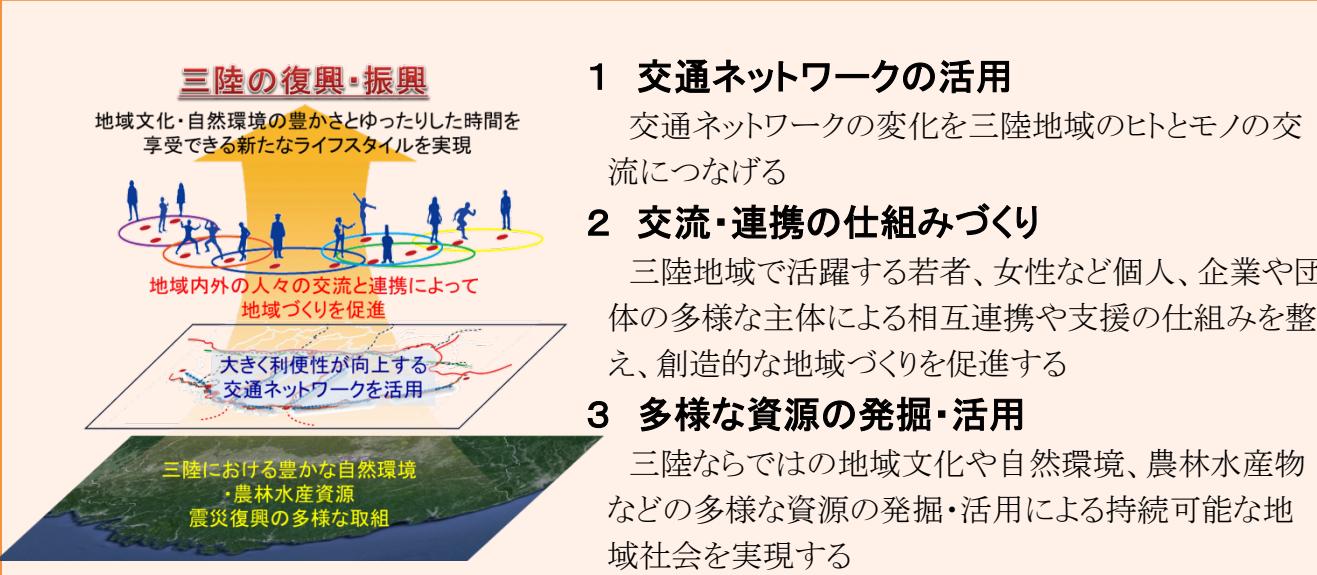
●産業の再生

- (1) 産業構造**
- 地域経済や雇用を支え、三陸地域の特徴となっている産業は「農林漁業」「建設業」「製造業」「卸売・小売業」「医療・福祉」
  - 最も粗付加価値額の高い「製造業」の中では、「食料品製造業」が製造品出荷額、従業員数とも大きなウェイトを占めている
- (2) 企業立地**
- ものづくり企業を中心とした関連産業の集積や、水産資源等の地域資源を生かした広域的な水産加工拠点化に取り組んでおり、震災以降、新たに18件(うち製造業9件)が立地
- (3) 雇用情勢**
- 沿岸部の有効求人倍率は平成24年7月以降、1倍台を維持。水産加工業、建設業等で人手不足が課題
- (4) 水産業**
- 魚市場等の早期復旧により、水産加工業の事業再開率は、84.0%と他業種と比較して高い
  - 平成26年度の産地魚市場水揚量は震災前に対して82%、養殖生産量は同61%まで回復
  - 新商品の開発や商品のブランド化など新たな付加価値を有する商品づくりや、海外への輸出を含めた販路の開拓を進めるなど、新たな取組が進展
- (5) 観光業**
- 平成26年度の三陸地域の観光入込客数(延べ人数)は、約650万人回となり、震災前(平成22年度比)の約9割まで回復
  - 震災後に「震災語り部ガイド」や「三陸ひとつなぎ自然学校」等、多様な取組が生まれている
  - 「三陸山田かき小屋」や「小袖海女センター」、「北山崎断崖クルーズ」等が復旧し、営業を再開しているほか、道の駅「高田松原」及び道の駅「たろう」が「重点道の駅」に選定

●コミュニティ

- (1) 地域づくりの動き**
- 地域づくりの担い手として、地域住民のみならず、企業・団体や、地域外からのU・Iターンの移住者等、多様な主体が参画し、復興まちづくりや地域課題を解決する取組が表れ始めている
- (2) 人口**
- 三陸地域の人口は、約25万人となっており、過去10年間に、約4万5千人(15.2%)減少している。東日本大震災津波により平成23年は大きく減少したものの、その後、人口減少ペースは震災前の水準と同程度になっている

基本的な考え方



# 三陸の未来を拓くプロジェクト

	目的	展開方向	取組内容		
A 産 業	時間短縮効果を産業振興へ	<b>A-1 三陸まるごと直送プロジェクト</b> ～新鮮な三陸の水産物等を復興道路で消費地に直送～ 高い付加価値を持つ三陸の新鮮な水産物等を、復興道路を活用して迅速に消費地に輸送する仕組みを構築する	<ul style="list-style-type: none"><li>・三陸で採れた水産物を、首都圏や仙台圏等の販売店でその日の夕方に販売できる流通ルートの構築</li><li>・復興道路を活用し、花巻空港や仙台空港を利用することで遠隔地へも展開</li><li>・効率的な流通ルート構築のための荷量確保等</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 効率的な輸送方法の構築<ul style="list-style-type: none"><li>・共同集荷の推進</li><li>・輸送の効率化や鮮度維持に資する輸送方法の開発</li></ul></li><li>2 三陸から直送する水産物の市場開拓<ul style="list-style-type: none"><li>・新しい販売エリアでのプロモーションの実施</li><li>・継続販売に向けたサポート</li></ul></li></ol>	 <p>新鮮な水産物等を消費地に直送</p>  <p>フェリー受入れ態勢の整備</p>
		<b>A-2 三陸物流強化プロジェクト</b> ～港湾と復興道路の活用による県内企業の競争力向上～ 港湾と復興道路を活用した効率的な物流ネットワークを生かし、県内企業の競争力の向上と三陸地域における物流拠点の形成を図る	<ul style="list-style-type: none"><li>・釜石港、大船渡港の定期コンテナ航路の充実や宮古港のフェリー貨物の活用により、効率的な輸送手段を構築することにより、企業の物流にかかるコストを削減することで、県内企業の競争力が向上</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 コンテナ定期航路充実に向けた荷量の確保<ul style="list-style-type: none"><li>・コンテナ貨物の集約</li><li>・コンテナの効率的な活用 等</li></ul></li><li>2 物流ネットワークを支える機能の確保<ul style="list-style-type: none"><li>・増加する貨物に対応した港湾の機能強化</li><li>・IC付近の休憩施設等の物流を支援する施設の立地促進</li></ul></li></ol>	 <p>生産者が消費者に直接販売</p>  <p>人材の共同募集説明会の開催</p>
		<b>A-3 三陸産ブランド構築プロジェクト</b> ～生産者の意欲と所得向上に資する産地ブランドの形成～ 生産者と消費者の関係の強化や総合的な商品力の向上を通して、水産物等を付加価値の高い商品として販売できる「三陸産ブランド」を確立する	<ul style="list-style-type: none"><li>・各地のブランドづくりに関する取組を加速し、生産者だけではなく、消費者や販売者を巻き込んだ取組を推進</li><li>・生産者等が連携し、高品質な商品を生産</li><li>・三陸地域の豊かな生産環境のPRや、消費者のニーズに応えた商品開発</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 生産者と消費者の関係強化による販売力向上<ul style="list-style-type: none"><li>・生産者と消費者とのマッチングの促進</li></ul></li><li>2 小売・飲食事業者の販売意欲の向上<ul style="list-style-type: none"><li>・訴求力のある商品の開発と展開</li></ul></li><li>3 生産者のネットワーク化による商品力の向上<ul style="list-style-type: none"><li>・生産者連携によるブランディング推進体制の構築 等</li></ul></li></ol>	
		<b>A-4 三陸産業プラットフォーム形成プロジェクト</b> ～企業における人材・資金・経営面の課題を組織的に支援～ 人材確保・育成、資金調達、経営面の課題解決のため、地域横断的な組織が、企業や地域のニーズとのコーディネート等の支援を行い、地域産業の振興を図る	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域内外から人材の募集、育成、定着の支援や、地域企業が資金調達を行うための経営戦略の立案を支援するなど、地域産業の基盤を強化する横断型の支援の仕組みを構築</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 人材確保のためのシンクタンク機能の構築<ul style="list-style-type: none"><li>・人材確保のためのコンサルティング支援 等</li></ul></li><li>2 事業者の経営戦略構築支援・社会投資活用支援<ul style="list-style-type: none"><li>・女性や若者をはじめとしたビジネス立ち上げの支援 等</li></ul></li><li>3 地域資源を生かした研究開発の促進<ul style="list-style-type: none"><li>・地域資源を生かしたイノベーションの創出 等</li></ul></li></ol>	
B 観 光	アクセス性向上を交流拡大へ	<b>B-1 食の観光コンテンツ充実プロジェクト</b> ～三陸の豊かな水産物を生かして食の観光コンテンツを充実～ 世界でも屈指の漁場である三陸沖の海の幸、雄大な大地からもたらされる山の幸を生かし、「三陸に行きたい！」と思わせる、三陸の食の魅力を生かし、交流人口を拡大する	<ul style="list-style-type: none"><li>・三陸の食資源を、他の地域と差別化し、個性ある食の魅力を発信</li><li>・多様な料理や産直等の販売方法、漁業体験等を組み合わせ、食の観光コンテンツを豊富に用意することにより、多様なニーズに対応</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 三陸ならではの食の体験型コンテンツの充実<ul style="list-style-type: none"><li>・食をテーマとした複合施設の立地促進</li></ul></li><li>2 食の魅力発信の核となるレストラン・リゾート誘致<ul style="list-style-type: none"><li>・三陸地域の食材を生かしたレストラン等の誘致</li><li>・若手シェフの受入れ体制の整備</li></ul></li></ol>	 <p>現地でしか味わえない食の充実</p>
		<b>B-2 三陸まるごと博覧会プロジェクト</b> ～イベント開催を契機とした観光地としての魅力の向上～ イベント開催をきっかけとして、観光地としての交通利便性や宿泊のポテンシャルを向上し、季節毎の魅力地域間で連携させたフィールドミュージアム型の観光地づくりを行う	<ul style="list-style-type: none"><li>・イベントの開催を契機に、地域資源を生かした体験型観光のメニューが各地に点在する観光地づくりを推進</li><li>・先進的な技術を用いた交通輸送システムの試行や、農山漁村と都市との交流の仕組みを通じた民泊を促進</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 イベントの開催を契機とした地域の魅力発信<ul style="list-style-type: none"><li>・三陸での観光イベント戦略の策定・実施</li></ul></li><li>2 三陸鉄道や先進技術を活用した二次交通の確保<ul style="list-style-type: none"><li>・三陸鉄道を核とした二次交通の確保 等</li></ul></li><li>3 民泊等の多様な宿泊の仕組みの確保<ul style="list-style-type: none"><li>・宿泊観光客受入れ能力の確保 等</li></ul></li></ol>	 <p>地域資源を生かしたイベントの開催 (参考事例：大地の芸術祭 新潟県) 『花咲ける妻』草間彌生 Photo by Osamu Nakamura</p>
		<b>B-3 三陸観光マネジメントプロジェクト</b> ～人材育成・商品開発・情報発信の戦略的な実施～ 国内外から訪れる観光客が、三陸の魅力を感じ楽しんでもらえるよう、地域が連携して個性的な観光メニューの充実や道の駅等の整備による周遊観光の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域それぞれの観光メニューを提供する事業者が連携し、それぞれが個性を持ちながら三陸として一体感を持つ魅力ある商品を開発</li><li>・「三陸」が一丸となって、訪日外国人や、修学旅行、個人、企業・団体等、それぞれのニーズに合わせた効果的なプロモーションを展開</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 個性的な観光メニューの充実<ul style="list-style-type: none"><li>・DMOによる観光リーダーの連携促進 等</li></ul></li><li>2 三陸が一体となった観光客誘致活動<ul style="list-style-type: none"><li>・広域的な観光客の受入れ調整やプロモーションの実施</li><li>・教育旅行等の企画旅行のコーディネート</li></ul></li><li>3 道の駅等の整備による周遊観光の充実<ul style="list-style-type: none"><li>・道の駅の整備と連携による周遊観光の促進</li></ul></li></ol>	 <p>教育旅行のコーディネート</p>
C コ ミ ュ ニ テ ィ	生活圏拡大を地域活性化へ	<b>C-1 地域間交流のまちづくりプロジェクト</b> ～地域の人々が交流しながら快適に生活できる環境の形成～ 復興道路の整備や鉄道の復旧等による生活圏域の変化に対応し、生活サービス機能の利便性の向上を図り、地域の人々が快適に生活できる環境を形成する	<ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活に不可欠な医療、福祉、教育、交通、購買・消費、雇用等生活サービス機能について、広域的な視点で維持や充実を図っていくとともに、生活圏としての一体感を醸成するため、地域住民の交流を促進</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 地域交通システムの構築と利用促進<ul style="list-style-type: none"><li>・三陸鉄道やバス事業者の連携による利便性の向上 等</li></ul></li><li>2 生活サービス機能の共同相互利用の推進<ul style="list-style-type: none"><li>・生活サービス機能の充実と広域的利活用の推進 等</li></ul></li><li>3 地域内交流の促進<ul style="list-style-type: none"><li>・ライフステージに合わせた人的交流の促進</li></ul></li></ol>	 <p>三陸鉄道を活用し利便性を向上</p>
		<b>C-2 開かれたまちづくりプロジェクト</b> ～地域人材と外部人材による地域づくりの実働部隊を編成～ 人材が広域で活躍できる仕組みや移住者の受入れ態勢づくり等を通して、地域内外の多様な人材の力を三陸地域全体の地域づくりに生かしていく	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域に居住する人や外から来た人、また、若者や女性など多くの人が、地域で協働し、刺激し合って、地域づくりに取り組み、コミュニティの再生や新たな地域の産業振興につながる好循環が生まれていく仕組みを構築</li></ul>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 地域づくりの人材が広域で活躍できる仕組みの構築<ul style="list-style-type: none"><li>・若者や女性等の地域づくり人材のネットワーク構築 等</li></ul></li><li>2 来訪者や移住者の受入れ態勢の充実<ul style="list-style-type: none"><li>・移住・定住につなげる受入れ態勢づくり 等</li></ul></li><li>3 新たなライフスタイルの発信<ul style="list-style-type: none"><li>・三陸ならではの多様で豊かなライフスタイルの発信</li></ul></li></ol>	 <p>多様な主体が参加した地域づくり</p>